

原子力試験研究継続課題について(案)

平成20年4月28日
内閣府原子力政策担当室

原子力試験研究については、平成19年度から新規課題の採択は行われなくなったが、平成24年度まで継続課題の評価を実施していく必要がある。従来、継続課題に関しては中間評価と事後評価を実施しているが、効率的な評価を実施するために、従来の評価時期を見直すことを検討する。

○従来の継続課題の評価時期

各WGでの評価

5～6月頃	応募課題の事前審査及び継続課題の中間評価
11～12月頃	前年度終了課題の評価
2月頃	クロスオーバー研究の年次評価

試験研究検討会

7～8月頃	応募課題の事前審査及び継続課題の中間評価のまとめ
3月頃	前年度終了課題とクロスオーバー研究年次評価のまとめ

○今後の継続課題の評価の進め方について

提案

1. これまで別々の時期に行っていた中間評価と事後評価を同時に実施する。
 - ・ 実施時期は、概算要求前に中間評価結果をまとめる必要があるので、従来の中間評価の時期(5～6月頃)を想定。
 - ・ 実施年度については検討を要する(中間評価は、平成21年度で終了)。
2. クロスオーバーは平成20年度で終了することから、年次評価に代わり、平成21年度の5～6月頃に事後評価を実施する。

(別添)

原子力試験研究の継続課題の評価時期

		物質材料	生体環境	システム・知的	計
平成20年度	中	4	1	6	11
	後	7	9	5	21
平成21年度	中	6	5	2	13
	後	9	8	2	19
平成22年度	後	7	6	2	15
平成23年度	後	4	3	6	13
平成24年度	後	6	3	2	11

※「後」は前年度終了課題